

マーケットの動き (2021年2月1日～2月5日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

米国の市場混乱が早期に収束するとの見方が強まり、週初は好決算を発表した銘柄を中心に買われる展開となりました。米国の長期金利上昇を受けて値がさ株中心に売りが広がり、4日は大きく下落したものの、週末にかけては景気回復への期待からバリュー株中心に買われ、TOPIXは3年ぶりの高値を付けました。

投資環境見通し (2021年2月)

株式相場は上値の重い展開

中国や欧米向け輸出の改善などから製造業を中心に企業活動の回復基調が続くとみえています。ただし、特定都府県での緊急事態宣言の影響や内閣支持率の低下が懸念されることに加え、日銀が3月に公表する金融政策点検に向けてETFの買入れ額の減額が議論されるとの見方もあります。すでにこれまでの上昇相場で株価に割高感もみられていることもあり、国内株式相場は短期的には、やや上値の重い展開を予想しています。

	2月5日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,890.95	4.54%	5.57%	21.63%	11.11%
日経平均株価	28,779.19	4.03%	5.97%	27.82%	23.41%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

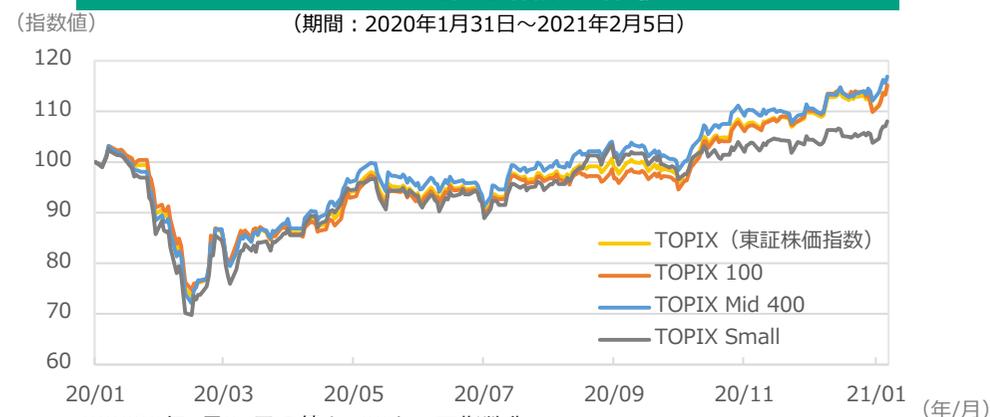
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202102_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2020年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成